

The 16th Kansai Advanced MR Forum
磁気共鳴専門技術者認定講習会

心循環器診療における MRIの有用性と将来展望

日時：2026年8月1日（土） 14:30～16:45
会場：大阪公立大学医学部附属病院 5階講堂
（病院地下1階出入口よりお入り下さい）
会費：1,000円
（社会人大学院生：500円、学部生：無料）

座長：徳島文理大学 保健福祉学部 診療放射線学科 山村憲一郎 先生

講演1：

心臓MRIのいまを整理するー基礎・応用からAI時代へのアプローチー

愛媛大学医学部附属病院 放射線部門 白石泰宏 先生

座長：天理よろづ相談所病院 放射線部 山崎良 先生

講演2：

三重大学における心臓MRI検査に関する取り組み

三重大学医学部附属病院 中央放射線部 高瀬伸一 先生

※日本磁気共鳴専門技術者認定機構（JMRTS）の更新ポイント付与を申請される方は、研究会開催日前までに、JMRTSウェブサイト（<http://plaza.umin.ac.jp/~JMRTS/index.html>）にて、RacNeにログインと当研究会参加登録をお願いいたします。（RacNeには個人登録が必須となります。）この手続きをされない場合、ポイントは付与されませんのでご注意ください。

詳細については、以下のURLをご参照ください。：

（<http://plaza.umin.ac.jp/~JMRTS/info/info6.html>）

主催：Kansai Advanced MR Forum
代表：竹森 大智
お問い合わせ：skyra0919@gmail.com

The 16th Kansai Advanced MR Forum

講演1：

心臓MRIのいまを整理するー基礎・応用からAI時代へのアプローチー 愛媛大学医学部附属病院 放射線部門 白石泰宏 先生

心臓MRI検査件数は2010年から2024年にかけて約2.5倍に増加し、循環器診療における重要性はますます高まっています。一方、SCMRによる標準プロトコルは2020年の更新版を最後に改訂されておらず、近年急速に普及したCompressed Sensing (CS)、Deep Learning Reconstruction (DLR)、AIを用いた自動解析といった技術には十分に対応できていないのが現状です。

本講演では、この「技術的ギャップ」を埋めることを目的として、心機能・形態評価、心筋虚血評価、冠動脈MRA、心筋組織評価の4つの領域を中心に、SCMRガイドラインを土台としながら最新技術のアップデートを解説します。自施設（愛媛大学医学部附属病院）での症例・研究データを交えながら、現場で実践可能な内容を実践的にお伝えします。あわせて、教育・組織的取り組みや技師の将来的な役割についても概説します。

講演2：

三重大学における心臓MRI検査に関する取り組み

三重大学医学部附属病院 中央放射線部 高瀬伸一 先生

心臓MRI検査は循環器診療に対し重要な情報を提供できる検査である。しかし、いまだ検査の煩雑さ、検査にかかる時間などの点が心臓MRI検査を普及させる障壁になっている点は否めない。一方、これらの点を克服するためのソフト面（技師に対する教育等の活動）や、ハード面（新しい技術の開発による心臓MRI検査の簡便化）の両面の進歩も少しずつではあるがみられている。このソフト、ハードのさらなる進歩が心臓MRI検査に対する捉え方を変え、検査が一般化し普及していくものと思われる。

そこで本講演では、画像とともに心臓MRI検査を概説し、新しい技術の紹介、技師に対する教育等、三重大学での取り組みを交えて心臓MRIの現状と展望について述べる。

アクセス

・御堂筋線 天王寺駅

徒歩7分

・谷町線 天王寺駅

徒歩9分

・JR 天王寺駅

徒歩9分

・御堂筋線 動物園前駅

徒歩9分

